

令和元年度摂津市味舌小学校第1回学校協議会 要点録

令和元年5月13日(月) 19:00~20:45
於:味舌小学校 南棟1階学習室
記録 平野 憲昭(事務局:本校教頭)

1. 校長より挨拶

より多くの方々からご意見をいただき、適切な学校評価を行うことで、よりよい学校経営を行いたいと考えています。

また、高槻市から新たに平野教頭を迎えました。教頭とともに、全力で学校経営に当たりますので、本年度もどうぞよろしく願いいたします。

2. 委員自己紹介

- | | |
|-----------------------|--|
| 榎谷 佳純 様(地域コーディネーター) | 三島荘住宅自治会会長、社会福祉協議会会長、元味舌小 PTA 会長・府 PTA 協議会役員・市 PTA 協議会役員などを歴任。地域で協働した取組みを推進し、福祉など幅広く活動されている。 |
| 門野 さとみ 様(民生・児童委員地区長) | 摂津市こどもフェスティバルなど行事に積極的に参加し、児童の見守り活動に取り組んでいただいている。子どもたちから温かく声をかけてもらえることが活力となっている。 |
| 吉田 栄子 様(民生児童委員) | ボランティア活動に参加し、日々子どもの安全を見守っていただいている。趣味での心身リフレッシュに心がけている。 |
| 小澤 香織 様(民生児童委員) | ご自身が味舌小学校の校区で育ち、民生児童委員を始めて14年目。町の中で、子どもたちが声をかけてくれ、このようなつながりを大切に活動されている。 |
| 高森 佳代子 様(主任児童委員) | 地域の子どもの様子など学校協議会での話題を把握し、地域の子どもたちを見守っていただいている。 |
| 中居 正一 様(青少年指導員) | 元味舌小・一中 PTA 会長。少年補導員、保護司、消防団も兼任され、味舌小学校区の子どもたちを見守っていただいている。周年行事の際には、味舌小校章のお菓子の型を提供していただいた。 |
| 前田 文雄 様(元味舌東小 PTA 会長) | 味舌小学校学校協議会のオープニングスタッフであり、学校に長くお力添えをいただいている。様々な視点から学校に意見をいただいている。 |
| 以登田 毅 様(元味舌小学校校長) | 府教委指導主事、社会教育主事、摂津市内小学校校長等を歴任。自称シンガーソングライターで、学校運営にも積極的に意見をいただいている。 |
| 河合 隆之 様(地域コーディネーター) | 現味舌小学校 PTA 会長で、5年目を迎える。味舌小学校の応援団 |

長として、味舌小の保護者とともに子どもを支えていただいている。

角田 幸代 様(地域コーディネーター) 元味舌小学校 PTA 会長で、長い間 PTA で活躍されていた。委員として新たに加わっていただき、久々の学校は新鮮とのこと。

3. 内容

① 令和元年度学校経営方針について

(校長)学校経営方針は、教育関係法令に基づき、本校の実態に合わせて定めている。また、学習指導要領に基づいてカリキュラムを作成している。本校の学校教育目標は、次の4点。

・思いやりのある、人間性豊かな児童の育成 ・心身ともに健康で「確かな学力」を身につけた児童の育成
・学習環境が整備された、落ち着いた学校の実現 ・保護者・地域とともに歩む、開かれた学校の実現
目標達成の際には、「よく学び、よく考える子・思いやりのある子・明るく元気な子」という児童像が実現すると考える。

まず、安全・安心の確保が本校の重点課題であり、誰もが元気に登校できる学校をめざす。また、学力向上には、引き続き力を注ぎたいが、習得した知識・技能を活用できる力を育む必要がある。

学校経営を進める上で、本校の強みは？外から見て学校の強みはどのように見えておられますか？

(委員)先生の若さが強みだと思う。

(校長)今年度の平均年齢は、35.1歳です。

(委員)子どもが落ち着いて過ごせており、学校が楽しいと感じていることが強み。

(委員)相互の交流が盛んで、学校と地域の仲がいい。学校の応援団がたくさんいて、いつでも助けるという体制がある。民生・児童委員との定期的な談話会を開いていることも強み。排他的にならないインクルーシブな運営ができています。

(校長)学校に関わっていただける人が多い。ただし、同じメンバーになっていることもあり、さらにより多くの人に関わっていただきたい。

では、学校の弱みについてはどのように感じられているか？

(委員)なかなか思い浮かばないので、順調に運営されているのではないかと。自分に関わっていた頃感じていたことだが、「子どもが子どもの面倒見る」ことができるようになれば、大人になると社会に貢献できる人材が育成されるのではないかと。

(委員)若い人材は、強みでもあり、弱みでもある。管理・育成が課題となる。

(委員)若い人は、精神的にも未熟で、学校の30数名の児童を指導するには苦勞と思う。

(校長)若いということは子どもと近い関係にあり、親近感が湧くというメリットがある。

(委員)若いと体力がある。子どもはなつくし、思い切ることができる。

(校長)若い教員は、授業力を早く向上させる必要がある。日本各地でも、教員の若返りは見られ、人材育成は課題となっている。

ところで、摂津市では現在、働き方改革を進めている。小学校では、18時半になったら、電話は自動音声で対応することになっている。一斉退校日の水曜日には教員は18時に退勤することになっている。早く帰れることはうれしいが、他の日に遅くまで残っている。休日に出勤する教員もいる現状である。

次に、働き方改革についてご意見を伺いたい。

(委員)早く帰ったらいいというわけではない。中身を考え直す必要がある。新規採用が多い組織は、運営が回らない。学校人事を工夫しないと、働き方改革はままならない。

(委員)市役所も同じように、若返りが課題となっているが、学校現場には顕著に表れている。

(委員)管理職の立場が、社会の一般常識とは異なる学校体制に課題があるのではないか。

(校長)最近では改善されてきている。教員の仕事の仕分けが必要だという声がある。例えば、通学路にお見守りやパトロールは、地域の仕事だというように。しかし、地域で見守っていただいている皆さんは仕事でやっているのではない。仕分けというのも難しい。

② 儀式的行事の(入学式・卒業式等)について(運営・内容など)

(校長)昨年度の卒業式についてご意見を伺いたい。昔の卒業式と変わってきている面もあるが、どう感じておられるか？

(委員)司会を教頭がしているが、以前は子どもが司会をするなど、手作り感があった。退場の時も一定の間隔を空けて、きちんと一人ずつ歩く姿は感動した。

(委員)司会はもちろん、歌唱の指揮者、会場の案内係など、児童ができることには可能な限りチャレンジさせたい。

(委員)決意を述べる言葉の内容が「仲良くしたい」など、同じようなものが多いようにも感じた。

(委員)いつもあまりしゃべらない子どもが、大きな声で言っている姿に感動した。

(委員)毎年雰囲気の違い、感動で泣いている子どももいれば、笑顔であふれている子どもも多くいる年もある。

(校長)卒業式は小学校の一大イベント。当日に向けての練習を重ねている。卒業式についていろいろな声もある。代表的な声として、なぜ対面形式なのかという意見。形式について意見があれば伺いたい。

(委員)子どもがメインでいいのではないか。服装については、凝りすぎているように思う。家庭状況もあり、この傾向は疑問。

(委員)話題はそれてしまうが、学級懇談会の出席率はどれぐらいですか。卒業式の時は保護者の出席が多いが、日頃からのつながりで卒業式を迎えるべき。学校にどれだけ興味をもっているのかが気になる。

(委員)1年生は出席者が多いですが、高学年になるにしたがって少なくなっている。

(委員)面白いよというロコミが必要。懇談に出ると役が当たるなどのマイナスイメージがある。

(校長)どんな懇談会を企画するかが大切。

(委員)自分の子どもの学校では、学級通信などで、発信があったので、話題がたくさんあり、楽しかった。先生の顔がわからないこともあり、先生のこともっと知りたい。

(委員)学級・学年懇談会の場は、親が繋がる場である。また、同じ悩みを話したり、その対応を交流したりする子育てサロンでもある。先生・保護者ともに子どもを育成するための仲間づくりの場であることを考えて、親同士が知り合いになっていただけるようなプログラムをもって懇談会に臨むべきである。

(校長)入学式についても感想を伺いたい。

(委員)入学式は新生が長く座ってられないので、短い時間でいいと思う。今年度の入学式でも6年生が頑張っていた。

(校長)新生のクラス名簿を配付することについて何か意見があれば。

(委員)名前だけでは個人は特定されないのでは、いいのではないか。

(委員)個人の名前を載せることは個人情報にあたる。

(委員)クラスの人数だけ記載している学校もある。

(委員)今年度当初に各学年名簿を配付しなかった。保護者からは入学式・卒業式では出しているのになぜ出していないのかという声があった。

(委員)目的を説明して、同意書を書いてもらうという方法もある。

(校長)個人情報のとらえがまちまちであったりして、大変難しい問題である。市教委とも協議したい。

③ 学校協議会の運営と今後のあり方

(校長)学校協議会は、学校運営についてのご意見をいただき、学校経営をより良いものへとするために開催している。定期的に開催し、学校評価の内の関係者評価を行う機関として位置付けている。

本年度の会長は、昨年度に引き続き榎谷さんをお願いしたい。(快諾)

今後の方向性については、学校協議会が学校運営協議会となり、本校がコミュニティスクールとなっても対応できるようにしたいと考えている。設置要項では、20名まで委員を増やせるので、是非とも委員数を増やしたい。

(委員)府立学校の学校運営協議会も学校協議会が母体となっている。

(校長)今年度も活発な意見交換をお願いしたい。

4. その他

① 安全・安心の取組みについて

安全・安心は学校経営の基盤。5月18日、土曜参観終了後、保護者への児童引渡し訓練を実施する。いざという時に訓練通りには動けないが、多くの児童を円滑に保護者に引き渡す訓練は重要。

② 次回について

次回のテーマは、学校美化及び学力向上。

今回は、7月5日(金)に開催。(今後は7、9、11、12、1、2月に開催予定。)